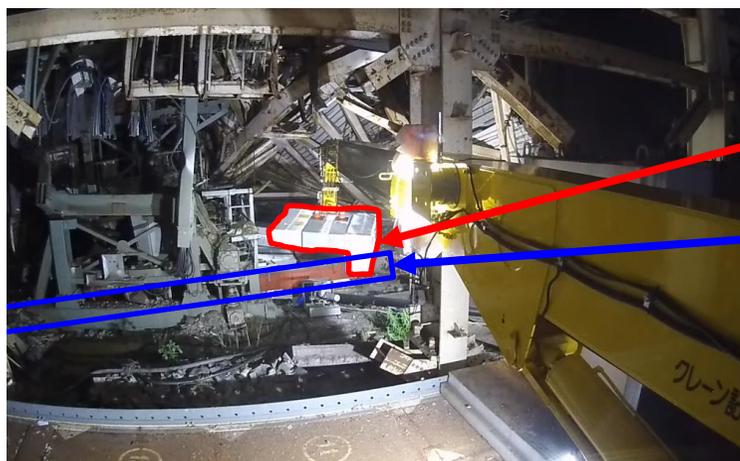


- 進捗に伴い燃料交換機（以下、FHM）の補助ホイス<sup>※1</sup>が、使用済燃料プール（以下、SFP）近傍に落下する可能性があるため、SFP近傍にはガレキ等の落下対策として2020年3月までにSFPゲート<sup>※2</sup>カバー、2020年6月までにSFP養生を設置しています。
- また、補助ホイスがSFPゲートカバー上へ落下した場合、SFPゲートが損傷するリスクがあるため、補助ホイス落下に伴うSFPゲートの損傷リスクへの対策として、SFPゲートへ追加養生を設置作業を6月26日から開始し、6月27日に設置作業を完了しています。
- 引き続き、ダスト濃度等を適切に監視しながら、周辺環境および作業員へ影響を与えぬよう、安全を最優先に作業を進めてまいります。

※1：物品を昇降するための巻上装置。現在当該の補助ホイスは、崩落した屋根とFHM本体の間に挟まれ安定した状態。

※2：SFPと原子炉ウェルを隔てるための板（障壁）。プラント運転時にはSFPゲートを設置し、SFPの水が原子炉ウェルに入り込まないように設置していた。



設置作業中の様子

SFPゲート  
追加養生

FHM  
支保

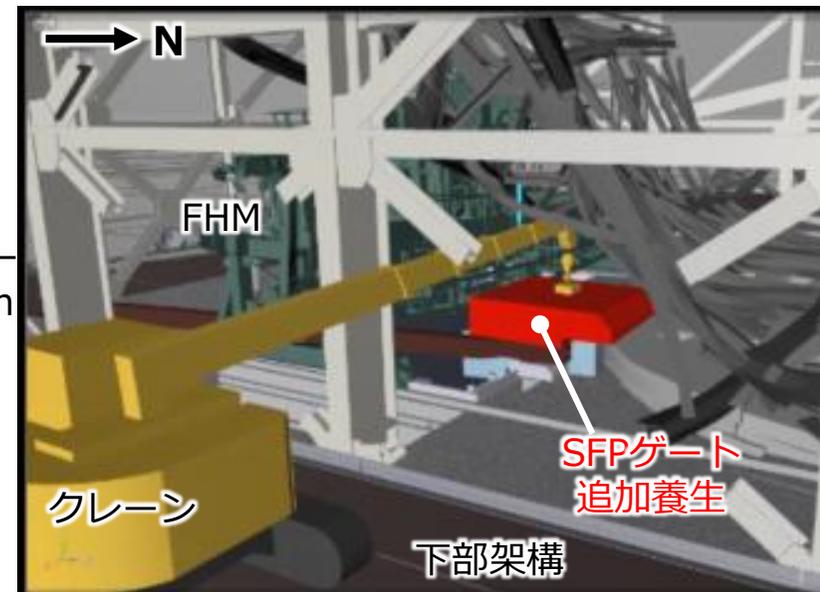
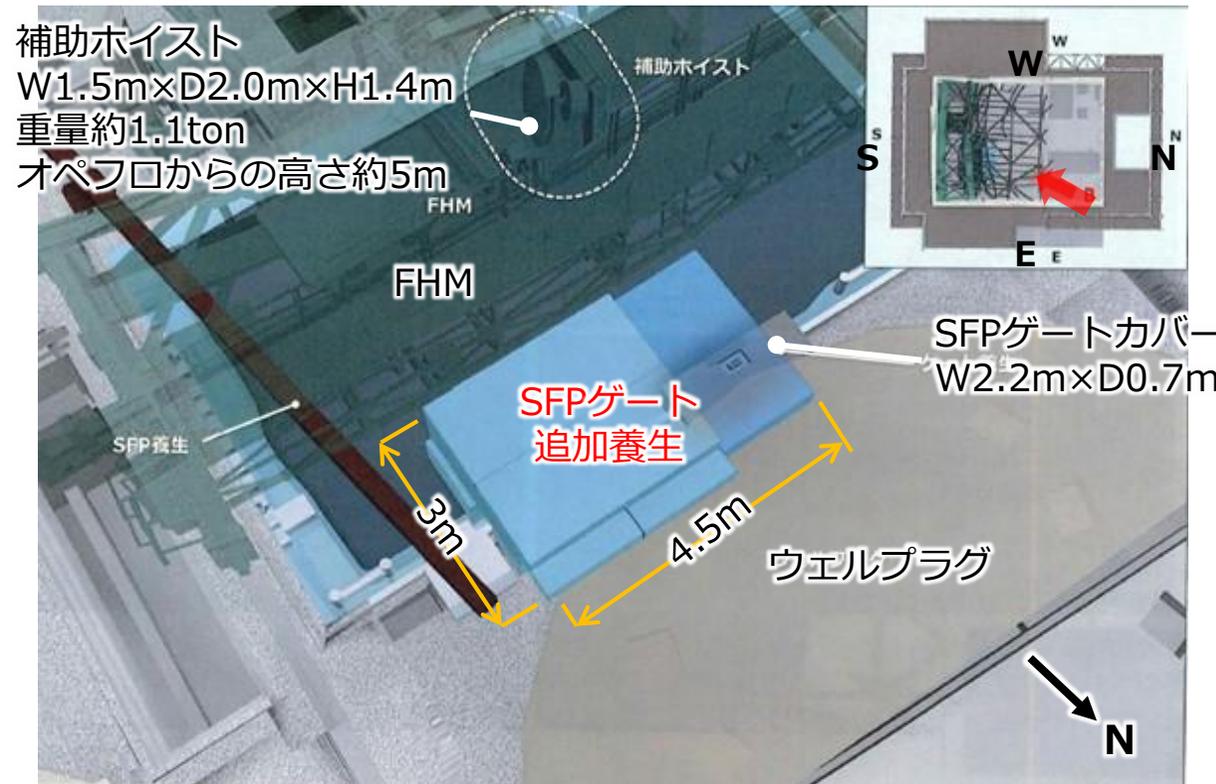


設置完了の様子

1号機使用済燃料プールゲートへの追加養生設置  
(撮影：2025年6月27日)

## SFPゲート追加養生の設置方法

- SFPゲート追加養生は、重量が軽く現場形状に合わせた施工が可能かつ、衝撃を吸収・分散できるように主要材料を発泡スチロールとし、大型カバー下部架構上東側にクレーンを設置、分割した養生体をSFPゲートカバー上へ揚重し設置します。
- 要素試験（落錘試験機を用いた養生材の基礎性能試験）および重量や位置関係を模擬したモックアップ試験にて、今回設置する養生体の上に補助ホイスが落下しても、SFPゲートへ影響を与えないことを確認しています。



設置作業のイメージ

# 【参考】 SFPゲート追加養生設置イメージ

